

花が織りなす色とりどりの世界

◎鬼北生花展・お茶会

「鬼」を題材とした迫力ある作品



「鬼北生花展・お茶会」は11月10日と11日の2日間、広見体育センターで行われました。会場には、それぞれの流派の特徴を生かした制作者の個性が感じられる生花をずらりと展示。花の生け方だけでなく、器や小物など細部までこだわった作品に、訪れた人たちは一つ一つじっくりと見て回りながら、それらが醸し出す雰囲気堪能していました。また、11日には会場内でお茶会が行われ、来場者たちはほっと一息つきながら、友人らとの会話を楽しんでいました。

個性豊かな舞で、五穀豊穡を祈願

◎富母里神楽

大蛮との相撲で、会場は和やかに：



11月10日、父野川地区の三島神社で富母里神楽の奉納が行われました。ときに勇壮に、ときに華麗に、そして、ときにユーモアにと、幅広い演舞と独創性の豊かさが魅力の富母里神楽。この日は、秋祭りの宵神楽として五穀豊穡を願い、全13演目が奉納され、地元の人のみならず、町内外から多くの人が訪れました。「弓の舞」、「盆の舞」、や「大蛮」など多彩な神楽を披露する会員たち。一演目が終わるたび、そして、舞い手が巧みな技を披露するたびに、会場には盛大な拍手と歓声が響き渡っていました。

奈良山を歩き触れる山岳信仰の世界観

◎歴史文化講演会&遺跡めぐりトレッキング

山本氏の講話を熱心に聞く参加者



11月23日、「歴史文化講演会&山岳信仰遺跡めぐりトレッキング」が行われ、町内外から20人が参加しました。この日の講師・現地ガイドは、日本山岳修験学会で理事を務める山本義孝先生。午前中は、中央公民館で「奈良山に展開した如意輪観音信仰・聖徳太子信仰」と題した講演会が行われ、参加者たちは山岳信仰について学びました。午後からは、現在調査中である奈良山信仰に関する地点と考えられる「大師ヶ森」へと歩みを進めた参加者たち。神秘的な信仰空間に感動しつつも、地域の歴史に触れることへの喜びを感じていました。

自転車で駆け巡り地域の宝を発見

◎スカベンジャーハント in 愛治

終了後、参加者全員で記念撮影



11月11日、愛媛県で制定されている「愛媛サイクリングの日」に合わせ、愛治地区で「スカベンジャーハント in 愛治」が開催されました。これは、地図を頼りに自転車に乗って駆け巡り、提示されたお題を見つけて撮影したり、体を使ったゲームに挑戦したりしながら、ポイントを獲得していくチーム対抗戦のゲーム。参加者たちは上位入賞を目指し、制限時間ギリギリまで奔走しました。人とのふれ合いもこのゲームの醍醐味。参加者たちは地元の人に尋ねたり、他のチームと協力し合ったりしながら、交流を深めていました。